

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 697

政策体系	13	事業分類	ソフト事業	所管部局	教育委員会 社会教育課
会計	一般会計	科目	10. 教育費 - 5. 社会教 - 1. 社会教 現年		
事業名	青少年活動事業				
細事業名	青少年活動事業				
評価表作成者				教育委員会 社会教育課	川勝 建太郎

1. 事業の概要

市内の小学校で学習している和太鼓サークル等が一堂に会し、日頃の練習の成果発表することにより、学校同士の連携や子どもたち等の交流を図る。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

伝統文化の発展・継承に寄与する事業
市内小・中学生や一般団体も参加して和太鼓の良さを感じる

② 事業を実施する必要性

地域に息づく太鼓文化を再発見すると共に、それを継承していくこと

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	250	250	250	180	180	180	180
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	250	250	250	180	180	180
職員等の従事人員	人/年	—	0.23	0.20	0.24			
人件費	千円	—	1,565	1,015	1,371			
事業費総額	千円	—	1,815	1,265	1,551			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

ビートフェスティバル実行委員会への補助金 180,000円

5. 事業結果の概要

第5回 南丹ビートフェスティバル
日時 平成22年10月24日(土)12:30～
場所 南丹市園部公民館 大ホール
内容 市内小中学生及び市内団体による和太鼓の演奏
11団体222名出演（児童生徒185名、一般37名）
観客 約150名

6. 活動の詳細

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

- ・事業実施における安全確保など、実行委員会構成団体との円滑な連絡・調整ができた。
- ・和太鼓の一大イベントとして、南丹市における文化継承を行えた。
- ・平成22年度は国民文化祭プレ事業として実施できた。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

- ・事業実施中の参加者の安全及び借用品の搬入・搬出時の安全確保実行委員会構成団体との円滑な連絡・調整ができた。
- ・和太鼓の一大イベントとして、南丹市における文化継承を行えた。
- ・平成21年度は新型インフルエンザの流行により参加者が少なかった。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
事業実施中の参加者の安全及び借用品の搬入・搬出時の安全確保実行委員会構成団体との円滑な連絡・調整方法
- ②当該事業のアピール事項
和太鼓の一大イベントとして、南丹市における文化継承を行っている。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
事業実施日の調整の難しさ